

MELONのあみめ⑧

執筆者：古仲朋さん
 (宮城県地球温暖化防止活動推進員)
 「エコフェスタ 2005 レポート」

9月4日(日)勾当台公園市民ひろばにて「エコフェスタ 2005」が、ときおり雨の降る中行われました。

MELON ブースへの人の流れは、まずは今年も好評「マイ箸袋づくり」でした。イベント中に袋づくりの参加者が絶えることはありませんでした。もうひとつの呼び物は、手回し発電機によって動くキャタピラ式のおもちゃでした。これが、子ども連れの家族を呼び込むのに一役買っていました。

そして、遠くからでもすぐに見える青いビニール袋がありました。これは、「二酸化炭素は見えないゴミ」というコンセプトのもと、二酸化炭素 1kg 分の体積と同じビニール袋をテントの天井から展示したもので、その大きさを実感できるようになっていました。「ちょっと邪魔」の声も聞かれましたが、二酸化炭素の存在感をアピールしていました。



マイ箸袋づくり

これらの顔により、ブースへ立ち寄った人々が、ごみ減量プロジェクト等の MELON の活動や宮城県温暖化防止活動推進員の活動報告のパネル等の展示をみていました。その中で私は、「SENDAI 光のページェント 光の貯金一省エネってきれいだな」のチラシ配りと発電担当をしました。

天気が悪かったため、フリーマーケットは中止となりましたが(2店出店していましたが)、古着市、包丁磨きそしてワケルモービルなどから「物を大事に、ゴミは少なく」のメッセージが伝わるものとなっていました。



執筆者：布田剛さん
 (MELON 会員)
 「環境フォーラム レポート」

環境フォーラムも今年で5回目を迎え、「ESD(持続可能な開発のための教育)の10年を考える」を中心テーマに行われました。在仙の環境団体のメンバー等、環境に関心のある多くの有志が集まり、実行委員会形式で企画を練ってきました。



資源探しゲーム

テーマがESDということで、今回のタイトルは「環(わ)の学校へようこそ」というもの。ステージ発表やブースの展示なども学校を模したものです。私たちはブースでの参加で、「杜の都の学級会」と題し、まちの中や暮らしの中から出るごみをいかに減らすかを来場者の方と話したり、考えてもらう企画を行いました。具体的には、模造紙にさまざまなごみの写真を貼り、それらのごみを減らすにはどうしたらいいかを話したり、考えてもらって、出たアイデアを付箋に書いて模造紙に貼ってもらうというものです。

また、仙スタやフルスタでのごみ減量の取り組みのパネルや、ごみ分別のクイズ式ゲームの展示も行い、磁石をボードに付けるタイプのゲームはなかなか人気でした。

親子連れでの来場が多く、小さなお子さんにも分別ゲームをやってもらったり、ごみを減らすアイデアを出してもらったりしました。今日の経験が子どもたちの記憶の片隅にでも残ってもらえれば、ESDをテーマとしてやった意味も出てくるのではないかと思います。